

日本全国に拡大中! 地域スポーツコミッショング

56団体（2016年度）→ 204団体（2023.10現在）

スポーツと自然環境・景観・文化などの地域資源を掛け合わせ、戦略的に活用することで地域活性化につなげる取り組みが全国で進められています。例えば、スポーツへの参加や観戦を目的とした旅行や、スポーツと観光を組み合わせた取組である「スポーツツーリズム」、域外から参加者を呼び込む「地域スポーツ大会・イベントの開催」、国内外の大規模な「スポーツ大会の誘致」、プロチームや大学などの「スポーツ合宿・キャンプの誘致」、住民向けの「地域スポーツクラブの運営」、「健康増進・地域交流イベントの開催」などが代表的な取組です。各地でこれらの取組を推進しているのが「地域スポーツコミッショング」です。地方公共団体に加えて、いわゆるスポーツ団体（体育協会、総合型地域スポーツクラブ等）などが一体となった組織となっています。つまり、異業種間にヨコ串を刺し、スポーツによる地域振興という共通する目的に連携・協力して取り組む組織である点が特徴となります。スポーツ庁では、平成27年度から「地域スポーツコミッショング」を支援する事業を実施しています。「第2期スポーツ基本計画」では、令和3年度末までに、全国の地域スポーツコミッショングの設置数を170にまで拡大することを目標として掲げておりましたが、スポーツ庁の調査では、令和5年10月段階で、全国に204の地域スポーツコミッショングを確認しています。「第3期スポーツ基本計画」に基づき、地域スポーツコミッショングの更なる「質の向上」のため、その経営の安定性を高める活動を推進とともに、経営において基盤となる人材の育成・確保の取り組みを推進します。

